

## ✍️ 取組概要

- ジェンダー平等プロジェクトチームがテーマの1つとして「防災」を検討し、「ジェンダーと防災に係る専門委員」の設置を提案
- 実際に防災会議内に専門委員を設置し、性別や障害の有無等にかかわらず多様な人達を委員に任命



## 取組のきっかけ 『防災分野において多様な視点で議論したい！』

庁内横断的にジェンダー視点を取り入れた施策について検討する「ジェンダー平等プロジェクトチーム」が立ち上がり、主要テーマの1つに「防災」が位置づけられた。

阪神・淡路大震災の被害を経験して、災害の脅威を認識してきたが、これまで防災の分野においてジェンダー視点の議論を行っておらず、防災会議の委員も女性の割合が少なかった……



多様な視点を踏まえた災害対策を議論するため、市に対して  
防災会議内に「ジェンダーと防災に係る専門委員」を設置することを提案。



多様なメンバーから意見を出してもらい、出された意見は全て丁寧に取り扱うことを目指そう！



# 1 地域の関係者や障害者、高校生など、多様な方々が専門委員として参画！

## ジェンダーと防災に係る専門委員

- ジェンダー平等推進室と総合安全対策室で相談しながら、委員には**有識者**、市内で防災教育や避難所運営に関わる**小学校校長、保健師、まちづくり協議会の会長**、防災甲子園などに取り組む**高校生**を選任した
  - 過去の災害の経験を踏まえ、委員候補者と**性別・年齢・障害の有無等の多様な観点から災害対策を考えることの重要性を共有**した
  - 当事者(障害者)に関するテーマを検討した際は、**臨時委員として障害者にも参画**を依頼した

こんないいことがあった！



ジェンダーバランスを図るとともに、多様な人達が委員に参画することで、障害者等の要配慮者の防災対策も含めて幅広く話し合えた！

全ての委員が意見を出した！



職員が当事者の声を学ぶ機会にも！



## 会議の進め方

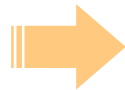
- 全4回の**会議形式による会議**に加え、模造紙と付箋を用いた**ワークショップ**を実施した
- 全ての意見を書き留め**、出た意見を「すぐに取り組む業務」と「中長期的に取り組む業務」に整理した

こんないいことがあった！



ワークショップなどで若者から意見が多く出ること、他の参加者も意見を出そうという空気になり、**活発に議論**ができた！

これがコツ！



**1つの意見もつぶさず**、全ての意見を大切にできた！



## 2 専門委員の提言をまとめ、計画の修正に反映！

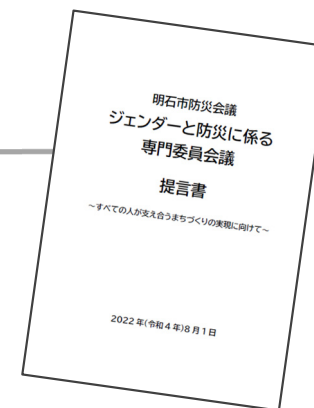
### 提言書作成と計画修正

- 全4回の会議を通じて協議された多様な方々の防災活動への参画や、ジェンダー平等の視点に立った避難行動及び避難所運営、職員が安心して災害対応にあたる環境の構築などの内容を取りまとめ、**提言書(案)を作成した**
  - 提言書(案)をもとに**総合安全対策室が計画の改定案を作成した**

こんな  
いいことが  
あった！



専門委員から提言された項目を**地域防災計画に反映し、計画全体を通して、ジェンダーや要配慮者に関する視点から見直す**ことができた！



多様な人々が  
参加！



### 計画修正後の防災訓練

- 訓練の企画はこれまで**市の担当者のみ**が担っていたが、**企画の段階から地域の方と事前打合せ**を重ねた
  - 専門委員**(まちづくり協議会の会長)が活動する地域を**防災訓練の会場**とし、**委員の高校生とも一緒に企画を実施した**
  - 訓練では、参加した地域住民の性別に関わらず役割を分担し、受付や障害者の案内、避難名簿の回収、簡易ベッドの組立などに取り組んだ

こんな  
いいことが  
あった！



**市と地域が連携した取組**が増え、防災訓練に学生や障害当事者が参加するなど、**専門委員をきっかけとした横のつながり**ができた！

女性を含む**多様な地域住民**による**避難所運営への協力**が推進された！

